

テーマ：重伝健地区に歴史をいかしたまちづくりを学ぶ（教育学部）

教育学部 教授 諸岡了介

全国にわずか五ヵ所しか指定されていない、農村集落としての重要伝統的建造物群保存地区である鳥取県大山町所子を訪れ、江戸期の名残を色濃く残すこの地区の巡検をおこないました。あわせて、貴重な歴史的景観を活かしながら地域を再生し、次代へと受け継いでいくためにどのような知恵と努力が注がれているのか、地元のかたがたにお話をうかがいました。最大のポイントとして、観光地化というやり方とはまた異なった、住民の日常生活と調和させつつ、集落全体を保全・維持していくというアプローチについて学びをえることができました。



伝統の風習・サイノカミの残る路



所子地区の町並み



重要文化財・門脇家住宅をご案内いただく